

上高地のスクープ写真集 ～七千枚の中から～

伴 浩治



ニリンソウの花の変異：花卉8枚だけ見つからず。おしべやめしべも変異している。左上は葉の鋸歯の遺伝子が発現。



カワマスが虫を食べた！：北米原産のサケ科イワナ属。毎秒10コマの威力。左下、飲み込まれた虫が口の中に写っていた。



林床一面のニリンソウ：数枚の写真をPhotoshopでパノラマ化している。



オシドリ：鳥はやはりかわたれ時。一人でひっそりバードウォッチング。



撮影できた鳥：鳴き声だけは他にも。とにかくどこでもウグイス。



ニホンザル：人をまったく恐れず、餌付けもされていない優等生。



地衣類：種名は調べていない。サルオガセ類はなかった。



ハプニングの「犯人」たち：野生のクマにはまだ出会ったことがない。憧れているのだが。



水成岩と火成岩：変成岩は見当たらず。億年のスケールのストーン・ウォッチングも面白い。



節足動物：晴れてはいたが気温が低く、残念ながら出会えた魍魎魍魎は少なかった。ひなたぼっこしている個体も。



上高地の自然破壊：国立公園の自然保護と観光との両立は難しいようだ。左上から時計回りに大正池の流出口、蛇籠、釜トンネル、外来魚2種、布団籠と堰、徳沢～横尾の仮設橋撤去工事。